



ゆずりは

社会福祉法人 敬仁会
特別養護老人ホーム
白 亜 館

ホームページ

<http://hakuakan.ec-net.jp>



明けましておめでとうござます 年末恒例 もちつき大会



今年の年末も無事にお餅つきを開催できました。つくたてのお餅をぜんざいで頂き、利用者の皆様はとても美味しく召し上がっていました☆

新年明けましておめでとうございます。2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃より利用者様、家族様ならびに地域の皆様から温かいご支援とご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。

さて、2025年は国民の5人に1人が後期高齢者（75歳以上）の超高齢化社会を迎える年です。特に「社会保障費の増大」「介護・医療に関わる人材不足」「労働力不足の深刻化」の3つが大きな課題となります。

また、昨年度から続く光熱費や燃料費、物価高騰に加え、人件費の膨張により介護施設の経営状況は日増しに深刻化しています。

白亜館ではこの厳しい時代に対抗できる介護体制を十分に整え、利用者様のサービスの質の向上に努めて参ります。2025年が利用者様、家族の皆様にとって幸多い一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。

本年も変わらぬご愛顧のほど心よりお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム白亜館 施設長 足立 裕明



握り寿司バイキング 食べ放題



待ちに待った年末恒例の握り寿司バイキングの日です！今回はマグロ、エビ、穴子、玉子、ハマチ、サーモン、ねぎトロ軍艦巻き、梅くらげ細巻き、そして前回大好評でした稲荷寿司の計9種類のネタを利用者様に召し上がって頂きました。握り寿司の並んだ桶を目の前にすると、利用者の皆様からはたくさんの笑顔が見られました。今後も利用者様から食べてみたい寿司ネタの聞き取り調査を行いながら、定期的実施したいと思います 😊

名物『白亜御膳』のご紹介



白亜館では開設当初より毎月1日の昼食に「白亜御膳」を提供しています。この日を待ち遠しく過ごしている利用者様がたくさんいらっしゃいます。今後も白亜館の名物メニューとして提供して参ります。

大陸 白亜



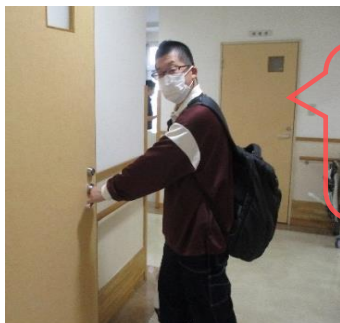
介護士の1日のお仕事に密着取材!

真邊幸政ユニットリーダー（白亜館に入社11年目）

【保有資格】介護福祉士

ここが僕のアナザースカイ！

6:20 出社・着替え



おはようございます。
今日は**早出**です！
今日も1日頑張るぞ！

6:30 担当ユニットに移動し
夜勤者から申し送り



6:40 朝の排泄介助と起床介助



7:50 朝食の準備と食事介助



10:00 排泄介助

11:50 昼食の準備と食事介助

12:20 遅出者に申し送り



12:30 昼食・休憩タイム

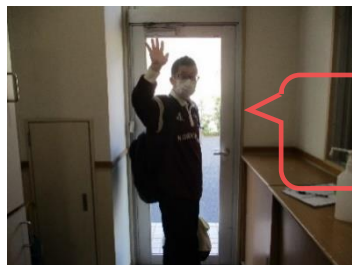


13:30 再び早出業務へ
「しんどい」と訴える利用者様が
いらっしゃったので看護師に報告



15:00 おやつ介助

15:40 勤務終了・退勤



お疲れ様
でした！



介護ワンポイント豆知識

【ユマニチュード4つの柱】

見る



水平に見る
正面から見
近くから見

話す



優しく穏やかに
話しかける
ケアの内容を
実況する

触れる



感度が
低い部位から
触れる

広い面積で
触れる
ゆっくり
優しく触れる

立つ

1日20分
立つ時間をつくる



厚生労働省の認知症施策推進総合戦略によると、今年の2025年には認知症の人が約700万人に達すると言われており、この数字は「65歳の高齢者の5人に1人」に相当します。そこで介護現場でも認知症の理解がよりいっそう重要になってきます。白亜館では昨年度末に認知症ケアの手法の一環である「ユマニチュード」の研修を行ないました。「ユマニチュード」はフランスで生まれて約40年の歴史を持ち、日本の医療や介護の現場でも知られるようになりました。「見る」「話す」「触れる」「立つ」という人間の持つ本来の特性に働きかけることによって、ケアを行う人は常に「あなたは大切な存在です」「あなたのことを大切に

出典:「注目の認知症ケア・ユマニチュードは？」より

思っています」というメッセージを相手に発信し続ける技法です。それらによって、たとえ認知症になっても自分は唯一無二の存在として自分が尊重されていると感じるようになります。

今回、広報紙作成者の私は4つの柱の中で「立つ」の項目に注目しました。人は1日20分の立つ時間を作ると、寝たきりを予防できると「ユマニチュード」の概念で提唱されています。たとえば、歯磨きや着替えは立って行う、食堂やトイレまでは車椅子を使わずに付き添って歩くなどを1日合計20分行なうだけで良いのです。現代社会は車での移動や在宅でのテレワーク、スマートフォンやインターネットの普及により1日の中で立つ時間よりも座る時間の方がはるかに多くなりました。高齢者だけでなく、私たちのようなミドル世代も決して他人事ではありません。白亜館でも人手が充実している時間帯は、寝たきり予防のために利用者様に安全を十分に配慮しながら、手引き歩行や補助具を使って歩く時間を確保していきたいと考えています。

面会制限の見直しについて



令和6年11月4日より面会制限時間を変更しました。原則朝10時から夕方17時までの面会時間とし、面会者の方にはマスク着用をお願いします。また、これまで通り面会時の飲食はご遠慮いただき、少人数、**30分以内**の時間をお願いします。少しでも体調に不安がある場合はご面会をお控え下さい。白亜館内でコロナやインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎等の感染症が発生した場合は面会中止となりますので何卒ご了承ください。面会の要件につきましては適宜変更する場合がございますので、お電話でお問い合わせ頂くか、ホームページを定期的にご覧ください。今後とも白亜館をよろしく願い致します。

編集 後記

最近、外出に出かけると注文がタブレット化しているお店が多く見られるようになりました。お店によってはロボットが食事を運んで来る所もあり、大変驚かされました。介護業界も人手不足で生産性向上のために、介護ロボットやICT（情報通信技術）等のテクノロジーを活用するように国は推し進めています。私個人としては、介護は人と人の繋がりあってのお仕事だと思っています。今後も利用者様や家族様、そして白亜館のスタッフ同士の関わりを大切にしながら働いていきます。今年も白亜館をよろしく願い致します。